

会 議 録

会 議 名	嵐山町立学校統合準備委員会 第1回学童保育部会			
開 催 日 時	令和7年2月12日（水）	開 会	午前10時00分	
		閉 会	午前11時25分	
開 催 場 所	嵐山町役場2階 執行部控室			
会 議 次 第	1. 開 会 2. あいさつ 3. 議 題 （1）学童保育室の再整備方針について （2）その他 4. 閉 会			
公開・非公開の別	公開	傍聴者数		
委員出欠状況	未就学児保護者	嵐山若草保育園	八木原夏実	欠
	未就学児保護者	嵐山幼稚園	戸坂千寿子	出
	小中学校保護者	菅谷小学校	安藤淳之介	欠
	小中学校保護者	七郷小学校	石森奈通子	欠
	小中学校保護者	志賀小学校	高橋 誠	出
	学童保育室室長	ひまわりクラブ	柴原 来禄	出
	学童保育室室長	ひまわり第2クラブ	雨宮 彩加	出
	学童保育室室長	てんとう虫クラブ	小林 咲季	出
	学童保育室室長	子どもの森	小野 直美	出
	出席者6人 欠席者4人			
事 務 局	福祉課長 太田 直人		福祉課 田島 亮	
	福祉課副課長 内田 淳也		まちづくり整備課副参事 島田 泰斗	

次 第	顛 末
1 開 会	太田課長
2 あいさつ	太田課長
3 議 題 議題（１）	議題を始める前に担当事務局、各委員より自己紹介をする ・ 部会長について 本来であれば統合準備委員会の中で委員長からの任命を行うところではあるが、委員長である七郷小学校校長の林校長の都合がつかず参加できない。意向に関しては事務局で承っているため、部会長を先に決めさせていただき、議事の進行を部会長にお願いしたい。林校長より菅谷学童保育室の柴原室長に委員長をお願いしたい旨を承っているため、部会長に関しては、柴原室長にお願いすることを委員から了承を得る。 ・ 柴原部会長より挨拶 来歴等の自己紹介から今後のよりよい学童保育部会の運営のお願い。 ・ 太田課長より各委員へのお願い 議事の前に、学童保育部会の目的を各委員にご承知おきいただく。 1 点目が七郷学童保育室の運用 2 点目が改修先学童保育室の設備について 3 点目が令和 8 年度から令和 1 2 年度における配慮事項について 以上 3 点を念頭にご協議していただきたい旨を話す。 今後部会については、来年度学童保育室に建屋の設計が入るため、概ね 3 回から 4 回程度を目安に各委員より意見聴取をしていく旨を話す。 （議長） （１）学童保育室の再整備方針について事務局より説明をお願いします。 ・ 田島より資料 1 と資料 2 の説明 資料 1 の再整備方針につきましては、学校再編プロジェクトにおいて決定され、町長決裁を受けたものの報告となる旨各委員に承知していただく。 （質疑応答） ・ 高橋委員 建設予定の小学校と学童の建築予定箇所には距離が有り、道も挟んでいるが、運用に関して決まっていることはあるのか ⇒（太田課長）現状決まっていることはない。道を渡すのに先生の協力をお願いし、下校時刻に支援員を 2 名程度配置できるように指定管理者と協議をする予定。詳しい今後の運用に関してはこの部会でご協議していただき、学校の方に働きかけていくのは有用だと考えている。 ・ 高橋委員 歩道橋の建設が難しいのは、予算の関係なのか設置個所の関係なのか

⇒両方が関係しており、設置は難しい。

・柴原委員

下校に関しての協議をどのようにいつ行うか現状の予定は

⇒（太田課長）学校統合準備委員会において「通学安全部会」があり、順次情報が互いにそろってきたら調整協議をしていくようになると考えてる。

（内田副課長）下校に関しては、工事段階により学校から学童保育室までの動線が変わっていくと予想される。工事日程等が明確に決まったうえでそれを基に、安全確保に向けて学校と学童で協議していく必要があり、現状未定である。

・柴原委員

資料2における多目的広場が学童保育室の外遊びスペースになると思われるが、この大きさを200名の児童が遊ぶのは厳しいように思う。中学校のグラウンド部分は使用していない時間帯や使わない部分は学童保育として使ってよいのか

⇒（太田課長）グラウンドの使用における学校との協議はまだ実施していないため、確実に使えるとは答えられないが、資料通り多目的広場として整備されるのは令和12年度以降であり、それまでの学童保育室の外遊びスペースに関して学校との協議が必須となる。使い方や広さ、時間帯等の要望を本部会で取りまとめ、学校側と協議していく必要がある。

・雨宮委員

令和8年度中には、実際に整備された菅谷中学校の1階部分で、菅谷小の児童は学童保育を始めることとなるが、授業中の中学生含め学校側への騒音等迷惑がかかることが予想される。それにより学童保育室の児童に窮屈な思いをさせるのは可哀想だ。その辺りは学校側とはどのような話になっているのか

⇒（太田課長）校舎の再利用の話が出た中で、当然教育長もこの話は知っており、学校側からは特段否定的な意見は出ていない。

（内田副課長）課題の1つではあると思う。引き続き検討し、教育委員会との情報共有、協議を進め、互いにある程度の理解を持つしかないと考えている。間仕切りや動線のハード面に関しては、要望を設計に盛り込むことができるため委員の皆様にご協議いただきたい。

・柴原委員

2階に通じる階段部分はシャッターで仕切るのか

⇒（島田副参事）防火シャッターがあるので、それで仕切るのは可能。だが、令和11年以降と以前で運用がまるで変わるため、運用方法の想定が異なる。

片方の昇降口は現3年生のみが使用しており、大きな昇降口へ移動してもらうのは可能と考えており、中学校と学童保育室が併用される期間においては間仕切りをし、学童保育室側から中学校2階へはアクセスできないようにすることを検討している。

そういった運用含め、配布資料に実際の運用を想定し、細部を書き込んだものを用意するので、委員の皆様には中学校1階の施工部分の下見をしていただく機会を作りたいと考えている。

	・ 高橋委員 現状、菅谷中学校の1階は常に使う部屋はないのか ⇒（島田副参事）特別支援学級の教室があるが、学童保育室施工に伴い先に上階に引っ越していただく予定。工事開始時点では特別教室以外に使用している部屋はなくなるため、すぐに施工できるような状態になる予定 ・ 柴原委員 送迎、特に迎えに関しては、学童保育室毎の迎えが良いと思うがそういった運用は可能か ⇒（内田副課長）学童保育室毎の振り分け方法や運用等はこの部会で協議していただくことになる。保育室毎の出入り口は掃き出し窓等を利用すれば設置は可能。 ・ 島田副参事 本日の協議においては、具体的に事項を決定していくのではなく、今後の協議向けて、どういったことを協議していかなければならないのかを把握する意味合いが大きい。もし、今後協議していかなければならないことを思いついた方がいれば是非お聞かせいただきたい。 ・ 高橋委員 議論をしていかなければならないことでいうと ・ 校舎から学童保育室への移動をどうするか ・ 学童保育室における送迎方法に関する運用をどうするのか ・ 七郷学童保育室をどうするのか ・ 中学校と学童保育室の併用運用期間中の取り決めにどう決めていくか ・ 支援単位の分け方をどうするか 等があげられると思う ⇒（内田副課長）本日あがった議題以外でも、思いついたことがあれば共有していただきたい。また今後現地を視察したうえで協議が必要な事項も見えてくるかと思う。本日の議題に関しては、事務局において今後の決定方法に関して準備していきたい。
4 閉 会	（事務局）
・ 上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和 7 年 2 月 29 日 部会長 <u>柴原 来禄</u>	